

第91期 報告書

H26・04・01 ▶ H27・03・31

株式会社 よみうりランド

証券コード9671



日本最大!“モノづくり”が体験できる新屋内型遊戯施設

GOOD JOB ATTRACTIONS 「グッジョバ!!!」

2016年春オープン



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社グループ第91期（平成26年4月1日～平成27年3月31日まで）の事業の概況を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申しあげます。

平成27年6月



代表取締役会長

関根 達雄



代表取締役社長

上村 武志

営業の概況

事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な企業収益を起点とした回復が続いてまいりましたが、当社グループの関連する業界に影響する個人消費につきましては、消費者マインドは持ち直しつつあるものの緩慢な動きとなっており、まだら模様の様相を呈しております。

このような状況の下、当社は投資の実行や組織の再編を通じ、新たな事業基盤の構築に取り組むとともに、既存事業の差別化と営業拠点の拡大を図ってまいりました。

船橋競馬場では、駐車場の一面にスーパーマーケットを建設し、10月に事業会社へ賃貸を開始いたしました。また、東京よみうりカントリークラブでは、開場50周年記念事業として、全ベントグリーンを耐暑性に優れた新種のベント芝に張り替え、10月から使用を開始いたしております。

遊園地では、年間を通じて開催した多彩なイベントが賑わいを見せました。特に冬の風物詩となったイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」は、期間中の入園者数が過去最高を記録するなど、プールWAI等の入場者まで含めた年間入園者数は、東日本遊園地協会加盟の遊園地で1位となる成績を収めることができました。また、11月にはフランチャイジーとして「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」を商業施設「グランツリー武蔵小杉」内に出店いたしました。同店はオープン以来全国の「キドキド」で上位の売上を記録するなど、好調な滑り出しを見せております。

この結果、当連結会計年度における売上高は172億9千5百万円（前期比3.1%増）、営業利益は、減価償却費が増加したことなどにより22億7千6百万円（同7.3%減）、経常利益は30億8千9百万円（同3.5%減）、当期純利益は17億6千9百万円（同8.8%減）となりました。

対処すべき課題

今後のわが国経済は、雇用・所得環境の改善とともに、引き続き緩やかに回復していくことが期待されますが、海外景気の下振れなどが、依然景気を下押しするリスクとなっております。

このような状況の下、当社グループは、引き続き所有地の効率的な活用による事業の拡大とともに、保有資産にとらわれない機動的な営業拠点の拡大を進めてまいります。

川崎競馬場におきましては、平成27年度末に3号スタンド跡地に商業施設が完成し、運営会社に賃貸を開始する予定です。これにより、365日いつでも「競馬観戦、ショッピング、飲食」が同時に可能となる、他に類を見ないレジャーエリアがオープンいたします。また、平成28年11月には、4年ぶり3回目となるダート競馬の祭典「JBC競走」の開催を予定しており、商業施設との相乗効果が期待されます。船橋競馬場におきましては、平成27年6月からナイトー競馬「ハートビートナイトー」が開始され、女性や仕事帰りの競馬ファンなど新たな顧客の獲得を目指しております。なお、船橋オートレースは平成28年3月をもって事業を廃止すると施行者である千葉県及び船橋市より発表がなされておりますが、今後につきましては、関係各所等と協議を進め検討してまいります。

ゴルフ部門は、引き続きゴルフ事業統括部門が効率的にゴルフ4場を一括管理し、人材交流などを通じて、サービスの向上や外部営業を強化してまいります。東京よみうりカントリークラブにおいては、チャンピオンコースとして、新ベントグリーンをはじめとする質の高いコースコンディションの維持管理に努めてまいります。また、女子浴室を増築したよみうりゴルフ倶楽部をはじめ、今年10月に開場30周年を迎える静岡よみうりカントリークラブでは「レディースウィーク」、千葉よみうりカントリークラブにおいては「女子割（さくらwari）」など、女子ゴルファー獲得に向けた様々なイベントを開催し、新たな顧客獲得に努めてまいります。

遊園地におきましては、好評を得ております「ジュエルミネーション」をはじめとする多彩なイベントを年間を通じて開催するとともに、温浴施設「丘の湯」や親子向け屋内遊戯施設「キドキド」などの周辺施設との連携を密にして、遊園地部門全体で相乗効果を図り、売上向上を目指してまいります。

そして、平成28年春には、4棟の屋内型遊戯施設からなるエリア「グッジョバ!!」が新たにオープンいたします。天候の影響を受けない環境のもと、新たな魅力を提供することにより、新たな顧客を創出し、遊園地事業を拡大していくことで、当社グループの成長と発展につなげてまいります。

今後とも当社グループは、国内でも特色のある総合レジャー・サービス事業会社として、永年に亘り培われたノウハウとブランドイメージに裏打ちされた様々な経営資源に基づき、持続的な企業価値の向上を目指し成長、進化していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総合レジャー事業 売上高
15,053 百万円

総合レジャー事業全体の売上高は、その他の収入も含め、150億5千3百万円（前期比3.7%増）、営業利益は29億2千3百万円（同2.0%増）となりました。

公営競技部門

川崎競馬は、前期同様63日開催されました。重賞競走は6月の「関東オークス」、12月の「全日本2歳優駿」、1月の川崎競馬最大のレース「川崎記念」などが開催され、多くのファンが来場した結果、投票券総売上高は増加いたしました。イベントは、9月の「川崎競馬秋まつり2014」や10月の「神奈川キャンピングカーフェア」などを実施し、多くの来場者で賑わいを見せました。また、3号スタンドの解体工事が完了し、平成27年度末の商業施設完成に向けた工事に着手いたしております。なお、南関東の他場開催（船橋・大井・浦和）の場外発売は、前期比2日増の206日実施されました。また、JRAの場外発売「ウインズ川崎」は前期比1日増の107日実施され、好調に推移いたしました。

船橋競馬は、前期比2日増の54日開催されました。5月にはビッグレース「かしわ記念」が開催され、近隣商業施設と連携した恒例のイベント「おうまフェス2014～親子であそぼ。～」を主催し、多くのファンで賑わいを見せました。これらのイベントの実施や、入場者が増加したことなどにより、投票券総売上高は増加いたしました。また、一昨年10月にスタートしたJRAの場外発売「J-PLACE船橋」は52日実施されました。なお、駐車場の一画にスーパーマーケットを建設し、10月より事業会社へ賃貸を開始いたしております。さらに、本年6月から開始するナイター競馬「ハートビートナイター」開催のために実施していた照明設備等設置工事は3月に完了いたしております。なお、他場開催（川崎・大井・浦和）の場外発売は、前期同様215日実施されました。

船橋オートレースは、前期比7日減の62日開催されました。5月に恒例のG I「黒潮杯」、6月には5年ぶりにG I「プレミアムカップ」が開催されました。しかしながら、開催日数減少の影響などにより、投票券総売上高は減少いたしました。また、他場開催の場外発売は、前期比4日増の274日実施されました。なお、8月に船橋オートレースの施行者である千葉県及び船橋市より、平成27年度末をもって船橋オートレース事業を廃止するとの発表がなされております。

競輪場外車券売場「サテライト船橋」での発売は、前期比3日減の362日実施されました。全国専用場外でトップクラスとなる多数のイベントが好評を博したものの、のべ発売日数の減少などにより、投票券売上高は減少いたしました。

以上の結果、公営競技部門の売上高は、42億2千5百万円（前期比7.5%増）となりました。

ゴルフ部門

東京よみうりカントリークラブは、引き続きチャンピオンコースとしてのコース維持を行いました。特に、当期に迎えた開場50周年の記念事業の一環として、全イベントグリーンを耐暑性に優れた新種のペント芝へ張り替え、10月より使用を開始いたしました。この新グリーンで12月に開催された「ゴルフ日本シリーズJTカップ」は、前年を上回る来場者で盛り上がりを見せました。また、営業面では引き続き法人を中心に外部営業に積極的に取り組んだ結果、入場者は前年並みに推移いたしました。なお、会員様のクラブライフをより充実したものにするために、クラブハウスレストランにて「丘の上JAZZ in 東京よみうりCC」や「スイーツフェスタ」を開催し好評を博しました。

よみうりゴルフ倶楽部は、特色を持たせた自主コンペを前年より増加して開催したほか、過年度からの営業先である法人等の継続利用に加え、新たな組織、団体などの外部営業先を拡大し、新規コンペを獲得いたしました。これらの結果、入場者は増加し、東日本大震災前の水準に回復いたしました。また、クラブハウスのレストランでは、遊園地のイベント「ほたるの宵」や「ジュエルミネーション」と連動した期間限定夜間営業を実施し、多くのおお客様にご利用いただきました。なお、女性プレーヤーの獲得に向け、自然光を採りこんだ明るく広い女性浴室を増築し、洗練されたデザインのパウダールームへのリニューアルを実施、本年4月より使用を開始し好評をいただいております。

静岡よみうりカントリークラブは、優待チケットの発行やインターネット予約限定割引などの施策を積極的に展開したものの、7月及び8月の台風接近をはじめとする悪天候によるキャンセルの影響などにより、入場者は減少いたしました。なお、初の試みとして、クラブハウスレストランにて数種類のカレーや鍋のメニューを開発し、その人気投票を行うイベントを期間限定で実施したところ、プレーヤーのご好評をいただきました。

千葉よみうりカントリークラブは、新規プレーヤー獲得のために、初めて来場したプレーヤーが対象の料金施策「初めて割」を実施し好評を得ました。また、リピーターのための企画として好評を得ている優待施策「けずってゴルフ」のほか、日本パブリックゴルフ協会主催の競技会の開催による参加者の増加などにより、入場者は増加いたしました。

なお、ゴルフ4場が連携し、これまで以上に効率的な運営を行うために、ゴルフ事業を統括する部門を新設し一括管理する体制を確立いたしました。東京2場にて静岡、千葉両ゴルフ場の従業員研修を行うなど、新たな取り組みを実施いたしております。

以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、28億4千9百万円（前期比1.0%増）となりました。

遊園地部門の遊園地では、引き続き年間を通じて多彩なイベントを充実させて開催いたしました。昨年3月に完成した全天候型多目的ホール「日テレらんらんホール」では、トップアスリートによるミュージカルのこけら落とし公演に始まり、サッカーワールドカップのパブリックビューイングやポリシヨイスステージサーカス、リアル脱出ゲームなど多彩なイベントを開催し好評を博しました。また、4月に新規オープンした「バーベキューパークJU-UJ」も、団体客を中心に多くのお客様で賑わいを見せております。ゴールデンウィークに開催した「全国ご当地大グルメ祭2014」では、過去最高だった前年に次ぐ売上を記録いたしました。夏期は、清涼飲料水メーカーとコラボレーションし、CMで話題のイベントを日本で唯一常設したほか、人気アーティストが遊園地をプロデュースする「よみUReeeeNランド」が好評を博しました。そして、10月末から2月中旬まで、世界的照明デザイナー石井幹子氏監修のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」を開催いたしました。イルミネーションの球数は前年の1.5倍となる300万球に増やし、日テレらんらんホールの周辺エリアをフォレストエリアとして拡張いたしました。また、好評の噴水ショーは2倍の規模に強化するなどした結果、クリスマスには夜間入園者の最高記録を達成、またジュエルミネーション期間中の入園者も過去最高となりました。なお、ジュエルミネーションの好調を受け、最寄駅の京王よみうりランド駅に新宿行の上り特急列車の一部が期間限定で臨時停車いたしました。3月は、子供に人気の妖怪アニメのイベントを2日間にわたって実施し、大変多くの入園者で賑わいを見せました。なお、同月末に消防車をモチーフにしたシューティングアトラクション「ちびっこ消防隊けしっぴー」が新規オープンし好評を博しております。これらの結果、遊園地の入園者は増加いたしました。

夏のプールWALLは、引き続きエンターテイメントプールとして、前年より水量を倍にした放水とオリジナルダンスのコラボレーションショー「ダンスブラッシュ!!」や、人気のおもちゃのアヒルレースなど多くのイベントを開催し、好評を博しました。しかしながら、梅雨明けの遅れや8月下旬からの低気温などの影響により、過去最高だった前年に比べ入場者は減少いたしました。

昨年3月に10周年を迎えた温浴施設「丘の湯」は、竹灯ろうの設置や大抽選会の開催など、年間を通じて10周年を記念したイベントを開催したほか、露天風呂にテレビを設置するなどの施策が好評を博し、入場者は増加いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では、「はたるの宵」と連携した「天安はたるディナー」や季節ごとの特別メニューが好評を博しました。

温浴施設「季乃彩（ときのいろどり）」は、土日祝日の朝風呂、果実や花などを使った変わり湯などのほか、食事処では季節ごとにフェアを実施するなど、年間を通じて開催したイベントが評判になりました。また、6月に実施したリニューアルでは、保温、保湿作用に優れたナノ水の導入や、ラドン岩盤浴の設置などを実施いたしました。この結果、オープン以来最高となる入場者を記録いたしました。

ゴルフガーデン（練習場）は、年間を通じてイベントやキャンペーンを行い、新規顧客の獲得やリピーター確保に努めました。パッティング大会やアプローチ大会のほか、レッスンプロによる無料ワンポイントレッスンや、ラウンド付スクールなどのイベントが好評を博しましたが、台風の影響などにより、入場者は減少いたしました。

親子向け屋内遊戯施設「キドキド」は、よみうりランド店独自の企画などを開催したほか、2月に「ベビーコーナー」をリニューアルし好評を博したものの、消費税率引上げによる影響などにより、入場者は減少いたしました。

11月には、「キドキド」と世界のあそび道具の専門店「ポーネルドショップ」を併設した「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」を、セブン&アイ・ホールディングスがオープンした商業施設「グランツリー武蔵小杉」に出店いたしました。外部商業施設への出店は当社として初めての試みとなりますが、既存店で蓄積したノウハウを活用し、オープン以来全国の「キドキド」で上位の売上を記録するなど、入場者は想定を大きく上回り、好調に推移いたしております。

なお、キドキドよみうりランド店とあそびのせかいグランツリー武蔵小杉店の効率的な運営を行うための運営部門を新設し、一括管理する体制を確立いたしました。

以上の結果、遊園地部門の売上高は、40億6千6百万円（前期比7.6%増）となりました。

遊園地の入園者が増加したことに伴う増収があったものの、コンビニエンスストア2店舗の営業を終了し、賃貸化したことなどにより、販売部門の売上高は29億8千2百万円（前期比5.7%減）となりました。

不動産事業

売上高
1,393 百万円

不動産事業の売上高は、新規造成の見送りに伴い販売用宅地の分譲が減少したことなどにより、13億9千3百万円（前期比12.1%減）となり、営業利益は8億2千3百万円（同13.1%減）となりました。

サポートサービス事業

売上高
3,181 百万円

サポートサービス事業の売上高は、外部からの工事の受注が増加したことなどにより、31億8千1百万円（前期比1.2%増）、営業利益は2億3百万円（同40.9%増）となりました。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度末 平成27年3月31日現在	前連結会計年度末 平成26年3月31日現在	比較増減
資産の部			
流動資産	5,912	4,213	1,698
現金及び預金	3,755	2,747	1,007
受取手形及び売掛金	1,350	895	454
商品	24	33	△9
販売用不動産	84	97	△12
未成工事支出金	1	20	△19
貯蔵品	16	13	3
繰延税金資産	129	110	19
その他	551	296	254
貸倒引当金	△0	△0	0
固定資産	55,542	47,268	8,273
有形固定資産	42,150	35,811	6,339
建物及び構築物	19,526	17,465	2,060
機械装置及び運搬具	1,281	1,431	△150
工具、器具及び備品	362	316	46
土地	15,568	14,175	1,393
リース資産	79	107	△27
建設仮勘定	5,331	2,314	3,017
無形固定資産	95	95	△0
その他	95	95	△0
投資その他の資産	13,295	11,361	1,934
投資有価証券	12,658	10,731	1,926
繰延税金資産	172	161	10
その他	465	468	△2
資産合計	61,454	51,482	9,972

	当連結会計年度末 平成27年3月31日現在	前連結会計年度末 平成26年3月31日現在	比較増減
負債の部			
流動負債	6,227	6,303	△75
営業未払金	603	789	△185
短期借入金	1,570	1,470	100
1年内返済予定の長期借入金	—	433	△433
未払法人税等	295	220	74
賞与引当金	124	123	1
その他	3,633	3,266	366
固定負債	33,705	26,313	7,391
長期借入金	6,000	—	6,000
繰延税金負債	2,629	1,923	706
退職給付に係る負債	508	558	△49
資産除去債務	205	201	3
長期預り金	24,170	23,395	774
その他	191	234	△43
負債合計	39,932	32,616	7,316
純資産の部			
株主資本	16,855	15,660	1,194
資本金	6,053	6,053	—
資本剰余金	4,730	4,730	—
利益剰余金	8,176	6,795	1,381
自己株式	△2,105	△1,918	△186
その他の包括利益累計額	4,666	3,204	1,461
その他有価証券評価差額金	4,667	3,204	1,462
繰延ヘッジ損益	△0	—	△0
純資産合計	21,521	18,865	2,656
負債純資産合計	61,454	51,482	9,972

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	比較増減
売上高	17,295	16,771	523
売上原価	13,206	12,651	554
売上総利益	4,089	4,120	△31
販売費及び一般管理費	1,812	1,664	147
営業利益	2,276	2,455	△178
営業外収益	838	772	65
受取配当金	214	178	36
建設発生土受入金	562	551	10
その他	60	42	18
営業外費用	25	25	0
支払利息	23	21	2
コミットメントフィー	1	4	△2
その他	0	0	0
経常利益	3,089	3,202	△113
特別利益	—	29	△29
固定資産売却益	—	29	△29
特別損失	452	161	291
固定資産除却損	445	154	291
災害による損失	6	7	△0
税金等調整前当期純利益	2,636	3,070	△434
法人税、住民税及び事業税	654	750	△95
法人税等調整額	212	380	△167
法人税等合計	867	1,130	△263
少数株主損益調整前当期純利益	1,769	1,940	△171
当期純利益	1,769	1,940	△171

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,222	3,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,244	△4,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,049	△1,457
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,027	△1,695
現金及び現金同等物の期首残高	2,707	4,402
現金及び現金同等物の期末残高	3,735	2,707

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

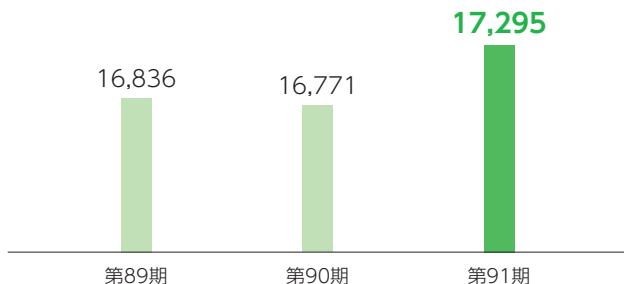
(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	6,053	4,730	6,795	△1,918	15,660
当期変動額					
剰余金の配当			△387		△387
当期純利益			1,769		1,769
自己株式の取得				△186	△186
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,381	△186	1,194
当期末残高	6,053	4,730	8,176	△2,105	16,855
	その他の包括利益累計額			純資産 合計	
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,204	—	3,204	18,865	
当期変動額					
剰余金の配当				△387	
当期純利益				1,769	
自己株式の取得				△186	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,462	△0	1,461	1,461	
当期変動額合計	1,462	△0	1,461	2,656	
当期末残高	4,667	△0	4,666	21,521	

業績ハイライト [連結] | Financial Highlights |

■ 売上高 **17,295** 百万円

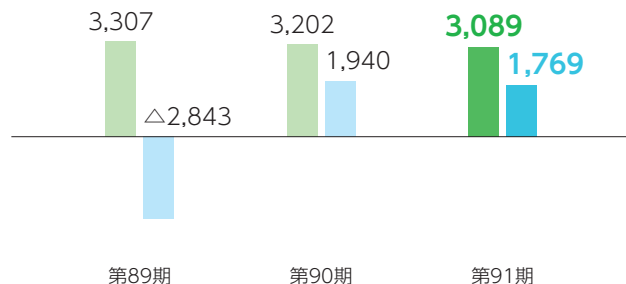
(単位：百万円)



■ 経常利益 **3,089** 百万円

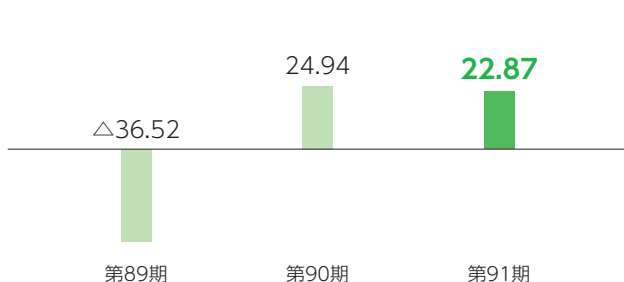
■ 当期純利益又は当期純損失 **1,769** 百万円

(単位：百万円)



■ 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 **22.87** 円

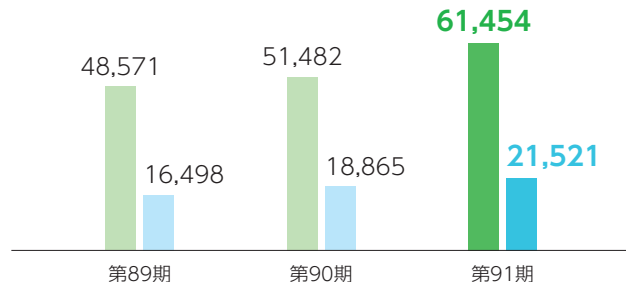
(単位：円)



■ 総資産 **61,454** 百万円

■ 純資産 **21,521** 百万円

(単位：百万円)



(注) 第89期における当期純損失及び1株当たり当期純損失は、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失を計上したこと等によるものであります。

東京よみうりカントリークラブ 全ベントグリーン張替完了



新ベントグリーン（18番ホール）

開場50周年記念事業の一環として、全ベントグリーンを耐暑性に優れた新種のベント芝へ張り替え、10月から使用を開始いたしました。この新グリーンで12月に開催された「ゴルフ日本シリーズJTカップ」は、前年を上回る入場者で盛り上がりました。

年間入園者数が東日本1位に ジュエルミネーション期間中の入園者数は 過去最高を記録



噴水と花火のコラボレーションショー（ジュエルミネーション）

世界的照明デザイナー石井幹子氏監修のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」は、球数を前年の1.5倍の300万球に増やしエリアも拡張。クリスマスには夜間入園者の最高記録を達成、期間中の入園者数も過去最高となりました。プールWAI等を含めた年間入園者数は、東日本遊園地協会加盟の遊園地で1位となりました。

あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店 オープン



店舗の様子

セブン&アイ・ホールディングスがオープンした商業施設「グランツリー武蔵小杉」に、「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」を出店いたしました。当社として、外部商業施設への出店は初めての試みとなりますが、入場者は想定を大きく上回り、全国の「キドキド」の中でも上位の売上を記録しております。

「ちびっこ消防隊けしっぴー」 オープン



消防車をモチーフにしたレールカートに乗り込み、火の着的座席前に装備された水鉄砲で撃つシューティングアトラクションが3月にオープンしました。お子様には消防隊員の衣装をお貸しし、乗車中はサイレンの音や噴射する効果音で演出を盛り上げます。

株主メモ | Shareholders' Information

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関
郵便物送付先

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
電子公告により行います。なお、以下のホームページアドレスにてご覧いただけます。
<http://www.yomiuriland.co.jp/ir/index.html>
ただし、事故その他、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する読売新聞に掲載して行います。

(電話照会先)
公告の方法

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主優待 | Shareholders' Hospitality

当社では、権利確定日に株主名簿に記録されている株主様を対象として、株主ご優待を実施しております。

権利確定日	9月30日(中間)	3月31日(期末)
発行時期	12月	6月
有効期間	1～6月	7～12月

招待内容

遊園地・プールWAI招待券綴	株主入場パス
1冊の内容	各場共通パス
★遊園地入園 5枚	☆川崎競馬場
★のりものクーポン券引換 1枚 <small>園内で[のりもの(アシカショー含む)4回分]のクーポン券5枚とお引き換えいたします。</small>	☆船橋競馬場
★ゴンドラ乗車 2枚(10回分)	
★プールWAI入場 5枚(※期末発行分のみ)	

※船橋オートレース場は、平成25年4月より入場料が無料となりました。

発行基準

ご所有株数	遊園地・プールWAI招待券綴	株主入場パス
1,000株以上	1冊	2枚
5,000株以上	2冊	3枚
10,000株以上	3冊	5枚
50,000株以上	4冊	5枚

※各招待券は休園日等ご利用いただけない日がございます。注意事項と合わせて詳細につきましては、同封の「株主招待券贈呈のご案内」をご参照ください。

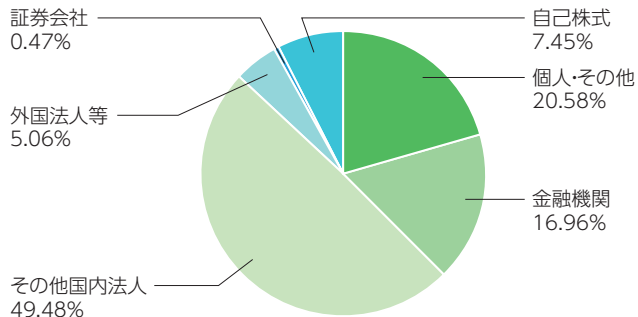
※プールWAI入場につきましては、期末発行分のみとなります。

発行可能株式総数……………294,196,000株

発行済株式総数…………… 77,298,913株
(自己株式6,223,111株を除く)

当期末株主数…………… 8,688名

所有者別株主比率



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	12,508	16.18
日本テレビ放送網株式会社	11,242	14.54
株式会社東京ドーム	5,821	7.53
三井住友信託銀行株式会社	3,845	4.97
大成建設株式会社	2,852	3.68
株式会社読売巨人軍	2,014	2.60
京王電鉄株式会社	1,700	2.19
株式会社横浜銀行	1,631	2.11
ピーエヌピーパリパセックサービスグループ ジャステックアパティエンゴローバルクライアントアセツ	1,570	2.03
オリンピック興業株式会社	1,278	1.65

(注) 1. 上記以外に当社所有の自己株式6,223千株があります。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社の概要 (平成27年3月31日現在)

商号 株式会社よみうりランド
(英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)
本店所在地 東京都稲城市矢野口4015番地1
設立 昭和24年9月24日
資本金 6,053,030,806円
企業集団の主要な事業内容 総合レジャー事業
公営競技部門…競馬、オートレース及び競輪の競技場等の施設運営
ゴルフ部門…ゴルフ場の経営
遊園地部門…遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設等の経営
販売部門…食堂、売店の経営
不動産事業
不動産の売買、賃貸
サポートサービス事業
建設業、ゴルフ場管理、ビル管理等

当社の従業員の状況 (平成27年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
118名	△3名	41歳10ヶ月	17年1ヶ月

(注) 従業員数は就業人員(契約社員を除く)であります。

役員 (平成27年6月18日現在)

代表取締役会長	関根達雄
代表取締役社長	上村武志
専務取締役	谷矢哲夫
専務取締役	土方功穂
専務取締役	小飯塚稔志
常務取締役	小山興志
取締役	中村道博
取締役	小林高章
取締役	中保恒雄
社外取締役	渡邊恒雄
社外取締役	加藤隼男
社外取締役	大久保好利
常勤監査役	小林光光
社外監査役	濱邦久
社外監査役	児玉幸治
社外監査役	岡田明重

川崎競馬場商業施設計画（2015年度末 完成予定）



工事の状況（2015年5月撮影）



完成イメージ

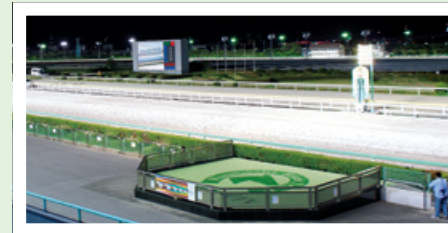
2015年度末の完成に向けて、3号スタンドの解体が完了し、建屋の建築工事が進んでおります。完成後には、365日いつでも「競馬観戦、ショッピング、飲食」が同時に可能となる、他に類を見ないレジャーエリアがオープンいたします。また、2016年11月には、4年ぶり3回目となるダート競馬の祭典「JBC競走」が、川崎競馬場で開催されることが決定いたしました。

Topics

船橋競馬場

「ハートビートナイター」スタート

船橋競馬場において、本年6月15日の開催から、ナイター競馬「ハートビートナイター」がスタートしました。女性や仕事帰りの競馬ファンなど、新たな顧客の獲得を目指してまいります。



ナイター照明に映える船橋競馬場走路

GOOD JOB ATTRACTIONS 「グッジョバ!!」 15アトラクション新設、2016年春オープン！

2016年春、日本最大となる“モノづくり”が体験できる全15機種のアトラクションを新設したエリア、GOOD JOB ATTRACTIONS「グッジョバ!!」がオープンします。総工費は約100億円。天候にかかわらずお楽しみいただける、屋内型施設の大型エリアです。また、各ゾーン内にはワークショップスペースを設けており、実際に“モノづくり”を体験することもできます。「グッジョバ!!」のオープンにより、アトラクションの総数は28機種から43機種へと大幅に増加します。ますます楽しくなるよみうりランドにどうぞご期待ください！



完成イメージ

株式会社よみうりランド

〒206-8566

東京都稲城市矢野口4015番地1

TEL 044-966-1131（総務部総務課）

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。